

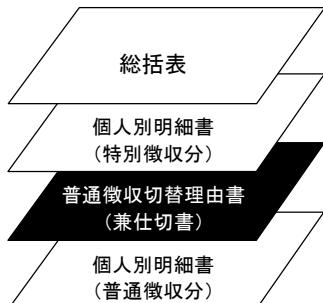
普通徴収切替理由書（兼仕切書）

市区町村名	朝日村	指定番号
事業者名		
符号	普通徴収切替理由	人数
普A	総受給者数(下記「普B」から「普F」に該当する全て(他市区町村分も含む)の従業員数を差し引いた人数)が2人以下	人
普B	他の事業所で特別徴収	人
普C	給与が少なく税額が引けない	人
普D	給与支払が不定期(例:給与の支払が毎月ではない)	人
普E	事業専従者(個人事業主のみ対象)	人
普F	退職者又は退職予定者(5月末日まで)及び休職者	人
合 計		人

【普通徴収切替理由書の記載要領】(作成例)

- この普通徴収切替理由書は、普通徴収を認める基準(普A～普F)を示すものです。普通徴収に該当する方がいる場合に提出して下さい。
- 「普通徴収切替理由」普A～普Fのうち、該当する理由の「人数」欄に人数を記入し、その従業員の個人別明細書には、摘要欄に該当する符号(普A～普F)を記入してください。
- 複数の該当理由がある方については、該当理由のいずれか一つに人数を記入してください。(同一の方に重複記入しないようご注意ください。)
- 特別徴収に該当する方と普通徴収に該当する方がいる場合は、仕切書として普通徴収の方の個人別明細書の上に插入し、総括表や他の個人別明細書と編冊して提出してください。(下記の図参照)
- 特別徴収対象者での提出があった場合でも、当村で確認した結果、他の事業所で特別徴収があることが判明した場合には、普通徴収の決定をすることがあります。
- 符号「普F」欄の休職者とは、休職により4月1日現在で給与の支払いを受けていない場合に限ります。

«提出時のつづり方»



«個人別明細書記載例»

社会保険料等の金額	
内	千
(摘要)	
普D	

「摘要」欄に、該当する符号を必ず記入し